

## 令和7年度 体育に関する指導改善計画

東広島市 立 造賀 小学校

**令和6年度の重点課題**

- 男子  
「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅跳び」「ボール投げ」において、全国・県平均値より低い学年が多い。
- 女子  
「上体起こし」「20mシャトルラン」「50m走」「ボール投げ」において、全国・県平均値より低い学年が多い。
- 男女とも運動やスポーツをすることが「好き」「やや好き」と答えた児童の割合は100%だが、女子は「やや好き」と答えた児童が60%が多い。

**上記の課題を受けて具体的に取り組んだ事項**

- ・体育科のサークル運動で3分間走の取組を継続し、持久力を付ける。
- ・上体起こしの課題を克服するために、器械運動の領域の授業をする時にゆりかご運動など上体起こしにつながる運動を取り入れる。
- ・学習内容に応じて、隣接学年による合同体育授業をする。
- ・ボールや器械運動の教材を購入することで、運動量を向上させる。
- ・4年生児童の東広島市球技交流会への参加に向けて、大休憩や屋休憩には、交流会不参加の4年生児童や、他学年の児童も含めて練習に取り組む。
- ・学年の実態に合ったカードを作成し、大休憩に「湯船マラソン」(3分間走)の取組を継続することで、持久力をつける。
- ・10月の東広島市陸上記録会への参加に向け、学校代表選手以外の児童へも練習参加を促す。
- ・新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させる。

**令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和6年度)・全国平均値(令和5年度)との比較**

性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子 第5学年	19.83	22.33	34.33	43.83	47.83	9.18	165.67	24.67	58.50
女子 第5学年	19.75	17.88	40.88	41.38	50.13	9.35	165.75	15.00	61.00

県平均値かつ全国平均値未満

**令和7年度新体力テストの結果 県平均値(令和7年度)・全国平均値(令和6年度)との比較**

性別	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子 第5学年	19.83	22.33	34.33	43.83	47.83	9.18	165.67	24.67	58.50
女子 第5学年	19.75	17.88	40.88	41.38	50.13	9.35	165.75	15.00	61.00

県平均値かつ全国平均値未満

**運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか**

性別	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子 第5学年	66.67	33.33	0.00	0.00
女子 第5学年	75.00	12.50	12.50	0.00

**学校独自の意識調査 全校児童59名(男子31名 女子28名)**

性別	好き	嫌い
男子 全校児童	90.32	9.68
女子 全校児童	89.28	10.72

**重点課題に対応した改善する取組内容及び方法**

**重点課題**

**情意面での課題**

○第5学年  
・運動やスポーツをすることが好き・やや好きと答えた男子児童の割合は100%だが、女子児童の割合は87.5%だった。

**体力面での課題**

○男子  
・「20mシャトルラン」において、全国平均値(令和6年度)は達しているが、県平均値(令和7年度)より低い結果であった。

○女子  
・「上体起こし」において、県平均値かつ全国平均値より低い結果であった。

**体育の授業で行う取組内容**

- ・持久力を高めていくために、1年を通して3分間走の取組を継続していく。
- ・体幹全体の基礎的な力を高めたり、各単元で行う運動に必要な動きを身に付けたりさせるために、上体起こしやプランク、クマ歩きなど、基礎感覚を高めるための運動を準備運動後に行う。
- ・仲間とのかかわりを広げ、運動することの楽しさをより実感させたり、運動の場や活動内容を工夫するなどして児童一人一人の運動量を向上させたりするために、低学年・中学年・高学年で合同体育授業を行う。

**体育の授業以外で行う取組内容**

- ・学年の実態に合ったカードを作成し、大休憩に「湯船マラソン」(3分間走)や「湯船縄跳び」の取組を継続することで、持久力の向上を図る。
- ・10月の東広島市陸上記録会への参加に向け、学校代表選手以外の児童へも練習参加を促す。
- ・新体力テストでA判定の児童に「校内体力優秀賞」、前年度より判定が向上した児童に「校内体力向上賞」の表彰状を出し、意欲を継続させる。
- ・保健体育委員会を中心として、休憩時間に全校児童で体を動かす機会を設定し、外遊びの奨励を強化する。

**令和8年度の  
重点目標値**

○第1学年から第6学年のAB率－DE率を36%以上にする。

○運動やスポーツをすることが好き・やや好きと肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。